

高知県高等学校体育大会（県体）に参加する生徒の皆さんへ

1 部活動の意義・意味

皆さんは、今所属している部活動で、何を目標にしていますか。個人種目であれば県記録、大会記録、自己ベストなど、団体であれば、優勝、ベスト4、四国大会出場、チームで1勝など、様々な目標があり、練習に励んでいると思います。また、日々の練習では仲間と切磋琢磨し、悔しい思いもしながら、達成感や自分自身の成長を感じたことなど、振り返ると色んなシーンが蘇ってくるのではないでしょうか。

皆さんが一生懸命取り組んでいる部活動は、練習や試合を通して、向上心や忍耐力などを高めるとともに、仲間との絆を高め、自分を大きく成長させ、将来の自分の生き方の基礎となるものを得ることができる貴重な活動といえます。



2 コロナ禍での活動

新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの生活は大きく変わってきています。人と接することが当たり前だったこれまでの生活から、人との身体的距離をとること、マスクの着用、大勢で集まらないこと、換気を行うことなど、いわゆる3密を避ける生活が普通の生活様式となりつつあります。

このような中、スポーツ活動においても感染の広がりを防止するため、大会に参加する際には、2週間の体温測定・体調チェック、体調不良時は医療機関の受診、試合中以外はマスク着用、手指消毒などの対策を講じています。

これは、生徒の皆さんや大会関係者、そのご家族の「命と健康」を守るためのものです。

3 新型コロナウイルスとは

新型コロナウイルスは、自分は「うつっていない」と思っている、実はウイルスを持っていることもあります。感染してもはっきりとした症状が出ないことや、症状が軽いことがあり、このような人たちからも、ウイルスは感染します。そのため、熱などがなくても自分が持っているかもしれないウイルスを周りの人にうつさないために、手洗いやマスクをつけることを忘れずに行うことが大切です。



自分が感染するだけじゃない

「人に感染させる可能性」は誰でも持っています。

4 大会に参加するために

今回の県体開催にあたり、高知県高等学校体育連盟は、大会に参加する生徒の皆さんの体調不良などの状態に対して、①新型コロナウイルスへの感染が疑われる場合には早めに病院受診をすること、②病院での検査結果が大会までに分からない場合には大会への参加を控えるように定めています。これは、大会に参加する生徒の皆さんを新型コロナウイルス感染症から守り、安心・安全な大会にするためのものです。

自分と仲間の命と健康を守るため「**勇気ある行動**」をとろう！

（1）体調不良になった場合

自分が感染源になり、多くの仲間に感染を広げないよう、また、自分の好きなスポーツからクラスター（集団感染）を発生させないために、一人ひとりが自分の体調管理に責任を持ち、少しでも体調に異変がある場合には早めに医療機関を受診するなど勇気ある行動をお願いします。

（2）身近な人が感染し、自分が濃厚接触者（自宅待機要請者）となってしまう大会開催まで検査結果がわからない場合

同じ部活の仲間が濃厚接触者（自宅待機要請者）となり、検査結果が大会までに判明しない場合は、チームとして参加を辞退することも出てきます。そうなった場合でも、その仲間を責めるのではなく、自分のこととして考えてください。

悪いのは新型コロナウイルス感染症という病気であり、一番辛い思いをしているのは、本人です。自分になりたくてなったわけでもありません。仲間に迷惑をかけて、チームが大会に出れなくなったことを申し訳なく思っていることでしょう。

チームとして出場できなくなる、練習の成果を発揮する場がなくなることは皆さんにとって非常に悔しい出来事になると思いますが、そのことで、仲間を責めるようなことは絶対にしないでください。

そういった思いをしないためにも、チームのみんなで声をかけ合いながら感染を予防することを徹底していきましょう。

4月の高体連主催大会においても、大会開催2週間前から開催日までに、①家族に陽性者が確認され自分が濃厚接触者となった、②他の部の友達が陽性者となり、自分が濃厚接触者となった、③自分が陽性者となり、部内の他の部員が濃厚接触者となった、④体調不良で医療機関を受診し、結果は陰性であったが念のため出場を辞退した事例などの報告があがってきています。チームや個人が大会参加を辞退してくれた結果、該当の大会では感染拡大は発生していません。

安心・安全な大会運営のためにも、部内で感染者や濃厚接触者（自宅待機要請者）が発生した場合には、出場を辞退しなければならないことがあることをみんなでしっかりと話し合っておいてください。



誹謗中傷は誰のためにもなりません。

感染は「いつでも・どこでも・誰にでも」起こること

新型コロナウイルスは、いつでも・どこでも・誰にでも感染する可能性があり、感染者が非難されるべきではありません。

「感染する人が悪い」という考えが広まれば、差別や偏見を恐れて医療機関への受診をためらい、命に関わる状態になってしまったり、周りにいる多くの人に感染させてしまうということにつながります。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、SNS上で感染者に対する誹謗中傷や心無い書き込み等が広がっています。

私たちが向き合う相手はウイルスです。そのことを今一度再認識して、一人ひとりが冷静な行動と、できる限りの予防を心掛けましょう。

